

項目	説明	
試料・情報の利用目的及び利用方法	研究課題名	局所進行子宮頸癌に対する化学療法併用放射線治療と重粒子線治療における急性期有害事象の比較検討
	研究対象者	子宮頸癌 II B～IVA 期（III C2r 期を除く）と診断された患者さんのうち、2019 年 4 月から 2024 年 8 月の間に神奈川県立がんセンターで同時化学放射線治療（重粒子線含む）を受けられた方
	研究目的	子宮頸部腺癌や大きい子宮頸部扁平上皮癌では重粒子線治療の効果が高いことが知られ保険適用となりました。重粒子線の性質上、従来の放射線治療よりも副作用が少ないことが期待されますが、実際にどんな副作用がどの程度少ないのか、についてはまだわかっていないため、本臨床研究にて比較検討します。
	研究方法	診療録による後方視的研究
	個人情報保護	対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように管理します。
	研究期間	西暦 2025 年 1 月 27 日～西暦 2025 年 12 月 31 日
	利用又は提供を開始する時期	[X]総長が研究実施を許可した日 []西暦 年 月 日頃（研究の進捗によって前後いたします）
利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します）	[]試料:	[]血漿、[]血清、[]全血、[]末梢血から抽出した DNA、 []病理検体(具体的に記載: _____)、 []尿、[]糞便、[]唾液、[]胸水、[]腹水、[]脳脊髄液、 []毛髪、[]その他(具体的に記載: _____)
	[X]情報:	[X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[]生年月日、[]性別、[X]既往歴、[X]併存疾患、[]外来日・入院日・退院日、[X]臨床検査値、[X]放射線診断や超音波検査、内視鏡検査等の画像データ、[X]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[]ゲノムデータ、[X]看護記録、[]その他(具体的に記載: _____)
試料・情報を利用する者の範囲	当センター研究責任者	所属・氏名 婦人科 横澤智美
	共同研究機関および責任者	なし
	その他の機関	なし
試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口	施設名・所属・氏名・連絡先 神奈川県立がんセンター 婦人科 横澤智美 045-520-2222 利用停止のお申し出は 2025 年 2 月 28 日までをお願いいたします ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります	